

史上最涼の熱中症対策アイテム



機器の作動音のない静寂でストレスフリーな熱中症対策

ENEOSドライアイスジャケット



ENEOS

ENEOSドライアイスジャケットとは？

現場の声をもとに開発した自社製品

『既存の用品や対策では暑さから身体を守れない！』という困りごとを解決します！

これまでご利用者の皆様より
「暑さのストレスから解放された」
「作業効率が上がったため工期が大幅に短縮できた」
「これまで使ったどの熱中症対策用品よりも涼しい」
といった多数の声が寄せられています。

導入いただいている主な業種

・各種メーカー（自動車、化学、製紙、タイヤ等）
建設現場 ゴルフ場 洗車場 等



マイナス78.5℃の超低温がかつてない
パワフルな冷却持続効果を発揮します。

ENEOSドライアイスジャケットサービスの特徴

1. ドライアイスジャケット

- ・ドライアイスの安定した冷気が3時間以上身体を効率的に冷やします。
- ・伸縮性のある軽量・難燃性の生地を採用し、作業性を徹底追及したデザイン。
- ・2WAYの使用法によりお好みポイントの冷却が可能。温度調整機能付き。
- ・ハーネス&ライフジャケットとの併用が可能。

「□WAY仕様」でお好みの場所を冷却



脇から背中全体を冷却するスタイル



首元の冷却効果を高めるスタイル

作業性と密着性を備えた「伸び縮みニット素材」を採用



- ・□種類のサイズを用意
- ・表地は燃え難い生地を使用
- ・洗濯可

付属の酸素濃度計により安心してご使用いただけます



2. ドライアイス供給方法

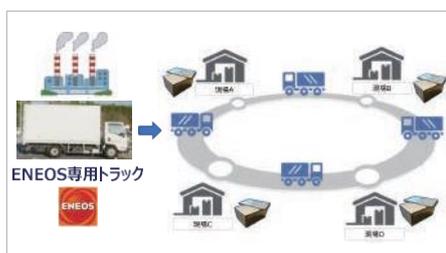
・ご使用場所に応じ、宅配便配送、ドライアイス製造機の設置、専用トラックによる工場内配送など、お届け先の条件に適した最適方法をご提案。

・専用受発注システムのサポート機能 で簡単発注。

※ ジャケット使用場所の気象予報データ（WBGT値）を自動で読み込み計算する、ドライアイス使用量の提案機能etc。



ドライアイス製造機



配送イメージ

注文書予測	← 前の週 → 次の週 → 編集				
日付	8月1日 (水)	8月2日 (木)	8月3日 (金)	8月4日 (土)	8月5日 (日)
作業時間 (時間/日)	8	8	8	8	8
作業人数 (人/日)	3	3	3	3	3
平均作業温度	32	32	32	32	32
照所係数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
WBGT (作業場所の平均値)	32	32	32	32	32
予想使用量 Kg	310.0	310.0	310.0	310.0	310.0

WBGT値

こんなお困りのある方に！

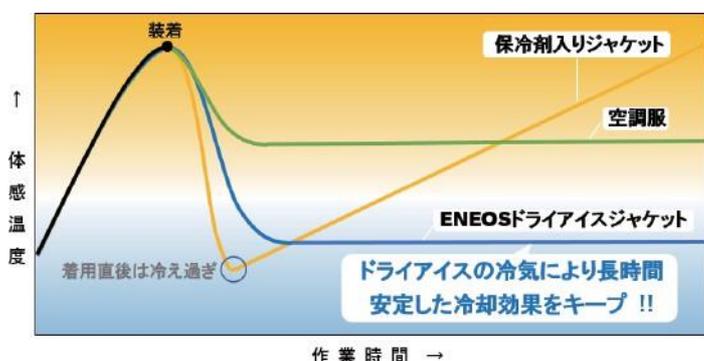
・既存の熱中症対策グッズでは冷却効果が足りない

- ※暑熱環境で負荷のかかる力作業をする場合
- ※気温が□□℃を超える高温作業場所

・作業場所で空調服が使えない

- ※防爆エリア
- ※多量の粉塵が舞う場所等

既存の熱中症対策用品との比較



	冷却効果の持続性	防爆エリアでの使用	静音性	気温36℃以上の高温環境での効果	詳細
保冷剤入りジャケット	×	○	○	△	保冷剤が結露し衣服がウェットに
空調服 (ファン付き作業服)	○	×	△	△	高温環境下では温風を吸い込む
ENEOSドライアイスジャケット	○	○	○	◎	ドライアスは昇華するため衣服はドライ状態をキープ

ENEOSのサービス内容

お客様のご要件に応じた形でドライアイスをご提供！

本サービスでお客様にご負担いただくもの

- ・ドライアイスジャケットの料金
- ・ドライアイス製造機のレンタル料金
- ・ドライアイス、またはドライアイス原料 (= 液化炭酸ガス) の料金
- ・酸素濃度計のメンテナンス料金 (年1回)



お客様の元へお届け



ドライアイス原料



SDGsの観点からもドライアイスは 理に適っている熱中症対策です。

地球温暖化の観点から、二酸化炭素の塊であるドライアイスは悪者扱いされがちです。しかし、原料の二酸化炭素は、各工場の副産物として生産され、もともとは大気放出していたものを活用しているため、ドライアイス用として新たに生み出している訳ではありません。むしろ、廃棄資源を有効利用することで、トータルエネルギー使用量、ひいては化石燃料の消費を抑えることに繋がります。

ENEOSドライアイスジャケット ご利用時の注意事項



⊖ **酸欠の危険があります。必ず付属の酸素濃度計を携行またはジャケットに装着し使用して下さい。**

- ★ 狭い密閉場所（車の中、休憩所等）で着用しないで下さい。
- ★ 警報が作動した際は、直ちにその場を離れ換気の良い場所に移動して下さい。
- ★ ドライアイスの冷気を直接口に吸い込まないで下さい。

⊖ **屋内で利用する際は換気を十分に行って下さい！**

- ★ 二酸化炭素は空気よりも重い為、下に滞留していきます。ジャケット使用時は、特に床面付近の換気を十分に行うようにして下さい。
- ★ 換気が不十分と少しでも懸念される場所での使用に際しては、事前に十分なリスクアセスメントを行ったうえで、使用可否を判断して下さい。

⊖ **凍傷や身体の冷え過ぎにご注意下さい！**

- ★ 着中、身体が冷え過ぎたと感じたり、肌にとりびりとした刺激や違和感を少しでも感じた場合は直ちに使用を中止して下さい。
- ★ 椅子の背もたれに寄りかかる等、ドライアイスの部分が強く当たらないよう注意して下さい。
- ★ 体感温度には個人差があります。冷たすぎると感じる箇所は付属の温度調整用シートをポケット内側に装着するか、またはその箇所のドライアイスを取り除いて使用して下さい。
- ★ ジャケット着用の際、下に着る標準的な衣類は、2枚（肌着+作業服）となります。薄手の衣類1枚の上または素肌の上から直接着用することは絶対にしないで下さい。

ドライアイス取り扱いに際しての 安全上の注意



- ⊖ ドライアイスが入った容器内には絶対に顔を近づけないで下さい。
➡ ガス化した二酸化炭素を吸い込むと二酸化炭素中毒と酸欠になる危険性があります。
- ⊖ ペットボトルやビンなどの密閉容器に入れないで下さい。密閉するとすぐに破裂し危険です。
➡ ドライアイスは昇華（ガス化）して気体になると750倍に膨らみます。
- ⊖ 自動車内には大量のドライアイスを持ち込まないで下さい。酸欠になり危険です。
➡ 自動車内に持ち込む場合は、窓を開けるなど換気を十分に行って下さい。
- ⊖ ドライアイスは地下室や換気のない場所で貯蔵・取り扱いをしないで下さい。
➡ ドライアイスが昇華（ガス化）した後に発生する炭酸ガスは、重いので床に溜まります。十分な換気の出る場所で使用して下さい。



- ⊖ ドライアイスには直接手で触れないで下さい。凍傷になります。
➡ 厚手の保護手袋を使用して下さい。
- ⊖ ドライアイスを取り扱う際は目に入らないようにし、また、絶対に口に入れないで下さい。
➡ ドライアイスで遊ばないよう子供の手の届かない所に置いて下さい。
- ⊖ ドライアイスは食品添加物ではありません。
➡ ソーダ水等の炭酸飲料は作れません。

ドライアイス廃棄方法

ドライアイスはマイナス78.5℃の極低温の物質です。廃棄は風通しの良い場所で自然に消滅させて下さい。

お問合せ先 ENEOSドライアイスジャケット代理店
NBKマーケティング株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-9-3
NABEYA東京ビル 2階
TEL：070-4091-3635（佐藤） 090-7289-6491（岡本）
Mail：佐藤 Shigeyuki.sato@nbk1560.com 岡本
e.Okamoto@nbk1560.com

